

校長室だより



気仙沼市立九条小学校
令和4年9月28日
NO.9
校長 白倉 彩枝子

かしこく やさしく たくましく



子供たちが考え・判断し・行動する姿

～ウクライナ募金活動への取組～

早いもので、1学期もあと10日ばかりとなりました。

子供たちは、澄み渡った秋空の下、気持ちよさそうに元気いっぱい遊んでいます。勉強するにも運動するにも、とてもよい季節になりました。

さて、先日、福祉防災委員会が中心になってウクライナへの募金活動を行いました。それ以前に、担当の先生から「子供たちが、募金活動に取り組みたいと言っているのですが。」と相談を受けました。私は、もちろん賛成でしたが、子供たちの考えを直接聞いてみたいと思ったので、「ぜひ、委員長、副委員長とお話しさせてください。」と頼みました。

早速、二人が校長室に訪ねてきました。

「どうして、募金活動に取り組みようと思ったの？」

「戦争で親と別れたり、家が焼かれたりして、苦しんでいる子供たちの姿を見たからです。」

「戦争から逃れるために、友達と別れて、知らない国に行く子供もいて、泣いている子供もいました。」

「それで、自分たちにできることはないかなと思っていたら、テレビで、ウクライナの子供たちを助けるための募金があることを知って、委員会で提案してみました。」

「助けたいという気持ちを、行動に表すなんてとても素晴らしいですね。みんなの思いが全校児童に伝わるように、どんどん声を掛けてください。」

その後、福祉防災委員会では、呼び掛けのポスターやアナウンス原稿、募金箱を作成しました。また、朝早くから昇降口前に立ち、募金活動に取り組みました。その結果、全校児童の心も一つになり、募金活動を応援しました。

「校長先生、提案から実施まで全て子供たちが進めたんですよ！子供たちの成長ぶりと協力がうれしくて…」と、担当の先生もとても感激していました。

気候変動やコロナ感染拡大、そして、ウクライナ危機…と、人類的な課題が次々に起こる現在。のほほんと過ごしていた私の小学生時代とは違い、様々な課題や問題に対し、自分たちで考え・判断し・行動する子供たちの姿には、心から感心させられます。そして、九条小学校の子供たちの思いが、ウクライナの子供たちの希望へつながりますようにと、祈るばかりです。おうちの方々からも、たくさん御協力をいただきました。改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

日々の子供たちの様子は、ホームページにて紹介しています。

また、学年PTA行事も保護者の皆様の御協力により順調に進んでいます。

その様子も、こちらの「QRコード」から御覧いただけます。 →

